

## 2 「3D空間デジタルコンテンツ」を

### 新たな教材として活用

デジタル技術を活用し、探究的な学びからシビックプライドの醸成へ

本市が推進している探究的な学びの取組として、学校現場で活用する新たなデジタル探究教材「3D空間デジタルコンテンツ」を制作しています。

このコンテンツは、実践校において2学期から試用し、来年度からは小中学校の授業（主に小学3年生から中学3年生）で活用していきます。

#### 1 制作の主な目的

子どもたちが持つ1人1台端末で操作できるデジタル探究教材を制作し、子どもたちが市内のさまざまな場所へ行かなくても、デジタル3D空間を能動的に疑似体験することで、感じた疑問を自ら解決していく学びを推進するとともに、シビックプライド（地域愛）を醸成してもらうことを目的としています。

#### 2 主な内容

総合的な学習の時間を中心に活用できるように、4つの教材テーマ（自然環境、歴史文化、地域産業、公共施設）について3D空間化し、空間内に複数の「情報タグ」「はてなタグ」などを設定したデジタル探究教材です。

#### 3 制作施設等

旧見付学校、桶ヶ谷沼ビジターセンター、埋蔵文化財センター、磐田市クリーンセンター、静岡産業大学、エビ養殖場（海幸ゆきのや）、製麺所（中西屋）、磐田市消防署、JA どんさり市（磐田南部支店）、GREENITY IWATA（旧磐田グランドホテル）

#### 4 制作費

約80万円/1コンテンツ（授業サポート、授業シラバス制作 含）  
※制作にあたってはデジタル田園都市国家構想交付金を活用しています

#### 5 取材について

日時：10月9日（水） 9：35～10：20  
場所：豊田南小学校 6年2組（磐田市森下300）  
※上記以外でも、ご連絡いただければ調整します